



■ 病院外観

## ご挨拶

### 地域の、日本の、世界の医療拠点へ

中部国際医療センターは令和4年1月1日、地域の中核病院としての役割を担いつつ、世界中の病める人々の医療のメッカとなることを目指して開院しました。

現在の日本医療は、国際的に高水準であると評価されており、海外からも大きな信用を得ています。医療費の面でも他の多くの先進国と比較すると経済的に有利な治療を受けることができます。将来的に、日本でも海外の医療保険が利用できるようになれば、東南アジアからだけではなく、欧米からも、安価で高度な日本の医療を求めて来日することが予測されます。具体的には、アメリカのハワイ州や西海岸から中部国際空港へ、空港からはヘリで中部国際医療センターへ移動し、検査や診療を受けるという事例も想定されます。当院は、既に外国人患者受入

れ拠点病院に認定されており、7ヶ国語に対応し、海外からの患者さんが不安なく受診できる体制を整えています。

また、国際的な視野のみならず、何よりも地域の中核病院として地域の皆様から信頼していただける病院であり続けるため、高度治療が必要な重篤な疾患だけではなく、患者さんの声に耳を傾け、個々の病状に合った最適な治療を行っていく方針です。一刻を争う疾患にも適切な治療を早期に施すことができるよう、ヘリポートを整備し、敷地内に「救急ワークステーション」を設置するなど、全ての疾患について、断わらない救急医療体制を充実させています。

美濃加茂市健康のまち一丁目1番地から、安全で最先端医療を提供できるよう、職員が一体となって努力を重ねていく所存です。

理事長 山田寛紘

## 病院の特色

### 健やかな笑顔を育む

#### 「優しい」「訪れやすい」病院

「全ては病める人のために」という利用者の立場に立った医療，それが私たち中部国際医療センターの目指す医療です。

来院者用駐車場800台を整備し，アクセスに配慮した玄関を設け，路線バス，市町村のコミュニティバスの利用も可能です。

受付から会計までの流れを分かりやすく配置し，

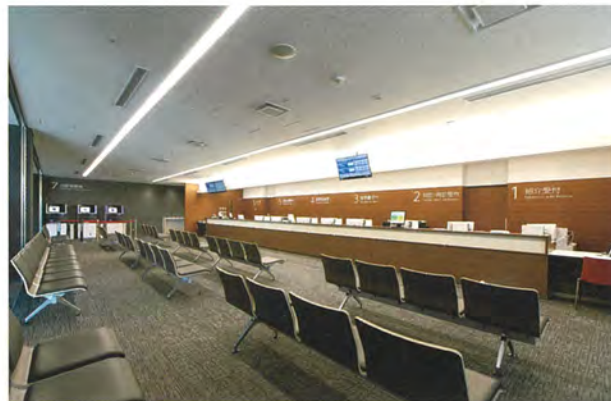
受付の向い側には「患者支援センター」も配置して，各種の医療相談から入院時の手続き，退院支援サービス等が一体となって提供されています。

高齢者，障害者の方にも安心して利用していただける病院として，スムーズな来院と受診を実現するために，ユニバーサルデザインも取り入れています。

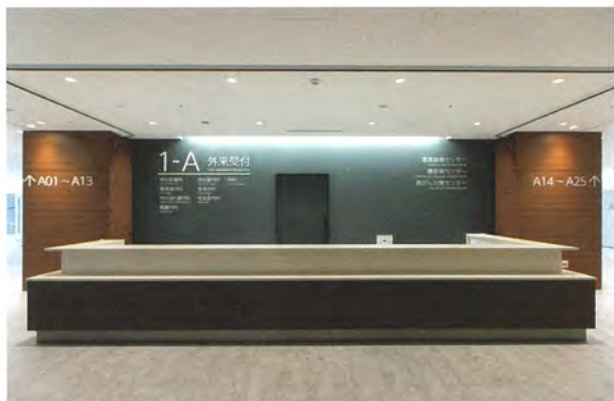
また，ホスピタルモールを中心とした移動しやすい施設配置やわかりやすい案内表示，使いやすい設備やWi-Fi対応など，細部までに配慮しました。



■ 病院外観



■ 総合受付



■ ブロック受付



■ 外来診察室



■ ホスピタルモール



■ 外来待合

## 「がん治療」の拠点病院として

がんの治療方法は急速な進歩を遂げており、早期に発見し、患者様一人ひとりに合った治療を選択することが、大きなカギを握るとされています。

中部国際医療センターでは、放射線治療装置、陽子線がん治療装置の導入やがんゲノム診断など、「地域がん診療連携拠点病院」として、がん治療に注力しています。また、手術室はハイブリッド手術室とダ・ヴィンチ専用手術室を含めて11室を整備しています。



■ 血管造影室



■ 強度変調放射線治療装置「ハルシオン」



■ 高精度放射線治療装置「トゥルービーム」

## 地域の「救急医療」を支える 充実の救急体制

救急部門は24時間365日体制で地域の救急患者の約5割を受入れています。CT、MRIをはじめとした検査装置を専用に配備。24時間体制で必要とされる検査を迅速に実施することができ、適切な治療を行うことが可能です。また、救急現場に医師や看護師が駆けつけるドクターカーの運用もスタートし、地域の消防組合と連携した救急活動を行い、緊急対応・初期治療を実現しています。



■ ハイブリッド手術室用システム「ディスカバリー」



■ 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」



■ ヘリポート

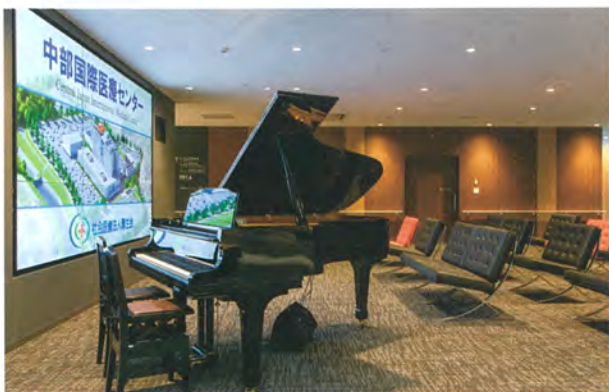
## ホテルのような雰囲気の館内で外来待ち時間対策も考慮しました。

来院された患者さん、ご家族が安心して治療を受けられるよう様々な機能を整備しました。各所に設置した番号表示モニターとスマホアプリの呼出機能で待ち時間を好きな場所で過ごすことができます。オンライン診療・後払い会計にも対応しており、院内滞在時間の短縮を進めています。

また、患者支援センターでは専任の職員が事前に入院説明を行い、ご希望により相談支援に繋がられる体制も整備しています。

## 職員が働きやすく患者さんが治療に専念できる入院環境を整備しました

入院環境は、ICU10床、HCU10床、一般病床390床、回復期病床92床の構成です。個室数は87床、多床室395床で、温湿度管理は勿論のこと病室内の十分なスペースの確保、利用者の立場に立った家具、備品を整えています。市内の高台に建築されていることから、各病室からは市内の四季折々の風景が見渡すことができ癒しの環境となっています。



■ 患者ラウンジ



■ レストラン



■ 特別室



■ 個室



■ 4床室



■ 病棟ダイニング

## 健やかな暮らしを支える 健康づくりの場

美濃加茂市中心部に位置する、中部国際医療センター周辺のエリア。その住所は、新たに「健康のまち一丁目1番地」と名付けました。施設内には「みのかも健康プラザ」が併設され、「美濃加茂市保健センター」も設置されています。フィットネスジ



■ みのかも健康プラザ



■ 美濃加茂市保健センター

ムの「健康増進施設クラブM」も入居し、予防医学にも注力しています。

医療福祉の充実を目指して地域の健康を支援する、美濃加茂市の「メディカルシティ構想」と一体となった医療拠点を形成しています。

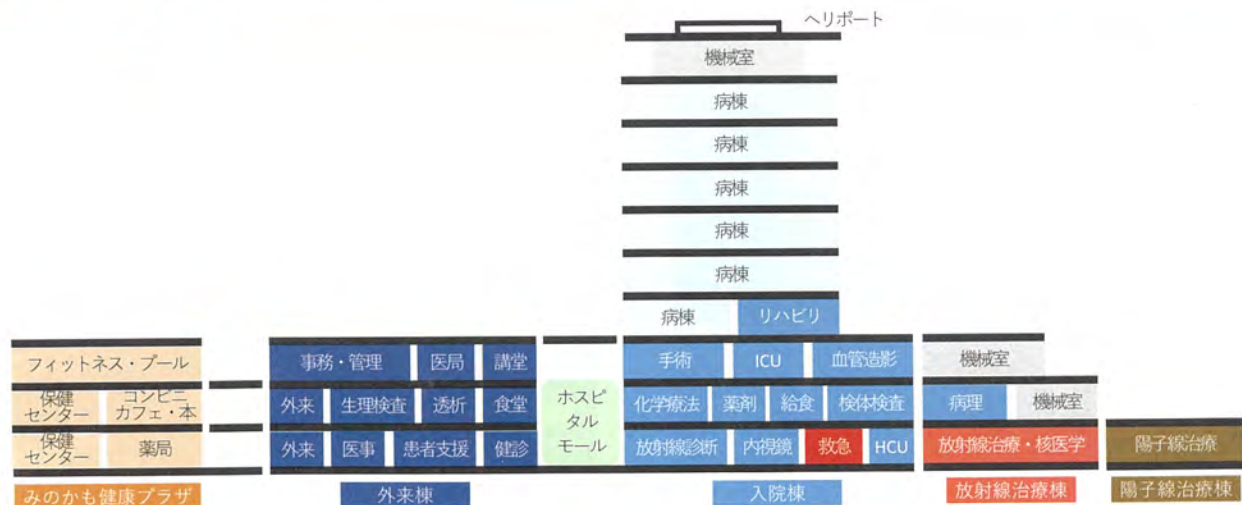


■ 健康増進施設 クラブ M



■ 健康増進施設 クラブ M

## フロアガイド



## 病院の概要

名称	中部国際医療センター
所在地	〒505-8510 岐阜県美濃加茂市健康のまち一丁目1番地
ホームページ	<a href="https://cjimc-hp.jp">https://cjimc-hp.jp</a>
開設者	社会医療法人厚生会 理事長 山田實紘
開設年月日	1913年（大正2）年4月
敷地面積	114,675㎡
延床面積	59,516㎡
構造等	免震構造（一部耐震構造） 地上10階＋ヘリポート
許可病床数	502床（HCU10床・ICU10床・一般390床・回復期92床）
診療科目（33診療科）	内科，総合内科，呼吸器内科，循環器内科，消化器内科，内分泌代謝内科，腎臓内科，血液内科，脳神経内科，眼科，小児科，外科，消化器外科，呼吸器外科，脳神経外科，心臓血管外科，整形外科，泌尿器科，産婦人科，耳鼻咽喉科，乳腺外科，形成外科，頭頸部外科，麻酔科，皮膚科，放射線科，放射線治療科，緩和ケア科，病理診断科，救急科，精神腫瘍科，リハビリテーション科，歯科口腔外科

## 病院理念

「全ては病める人のために」  
 All for the benefit of the Patients.  
 私たちは病める人の「安心」のために心を込めた医療を実践します

### 基本方針

1. 私たちはいつも笑顔を忘れず速やかな医療サービスを実践します。
2. 患者様の権利と尊厳を尊重した医療を行います。
3. 国際的な視野に立ち専門的かつ最新の医療を目指します。
4. 地域における救急医療の担い手として，24時間救急体制を充実させます。
5. 医療・保健・福祉の連携を密にした医療サービスを提供します。
6. 私たちは常に自己研鑽を行い，優秀な人材の育成に努めます。

## 沿革

- 1913年 4月 診療所「回生院」を開設
- 1952年 4月 「木澤病院」に改称、23床
- 1953年11月 法人認可「医療法人厚生会」
- 1965年 3月 救急指定 190床
- 1978年12月 CT（全身用コンピュータ断層撮影装置）導入
- 1983年 7月 リハビリテーションセンター開設 226床
- 1987年11月 人間ドック部（現健康管理センター）開設
- 1987年12月 MRI（磁気共鳴画像診断装置）導入
- 1989年 4月 特定医療法人認可
- 1991年 3月 「木沢記念病院」に改称 332床
- 1994年 4月 「あじさい看護専門学校」開校
- 1996年 8月 エイズ拠点病院に指定
- 1996年12月 中濃地区災害医療センターに指定
- 1999年 5月 ICU開設 402床
- 1999年 7月 病院機能評価認定（B）、岐阜県第1号
- 2001年 4月 中部療護センター運営受託、452床
- 2001年 4月 PET（ポジトロン断層撮影装置）導入
- 2003年10月 臨床研修病院に指定
- 2005年 4月 回復期リハビリテーション病棟開設
- 2005年12月 IMRT（トモセラピー/ハイアートシステム）導入
- 2006年 9月 岐阜県病院協会医学会開催（山田實紘・学会長）
- 2006年11月 PET-CT導入
- 2008年 3月 320列CT（Aquilion ONE）導入
- 2008年10月 社会医療法人に認定
- 2008年10月 地域医療支援病院に認定
- 2009年 5月 多治見市民病院の指定管理者契約を締結
- 2010年 7月 第60回日本病院学会開催（山田實紘・学会長）
- 2010年11月 内視鏡下手術支援ロボット（da Vinci）導入
- 2015年 4月 乳房専用PET装置（Elmammo）導入
- 2016年 7月 外国人患者受入拠点病院に認定
- 2018年 4月 がんゲノム医療連携病院に指定
- 2019年 3月 JIH（ジャパンインターナショナルホスピタルズ）認定
- 2019年11月 JMIP（外国人患者受入医療機関）認定
- 2020年10月 へき地医療拠点病院に指定
- 2022年 1月 木沢記念病院を名称変更「中部脳リハビリテーション病院150床」
- 2022年 1月 新病院として「中部国際医療センター502床」を開設